

にかほ市の水田農業施策



にかほ市の農業については
産業建設部
農林水産課
農業農村振興班
☎ 38・4303へ

米づくりへの支援

良質な自然条件に恵まれ、高品質米の安定生産を図るための支援を行っています。

●高品質・良食味米生産体制強化事業

J A秋田しんせいが実施する「土づくり実証米」運動によりブランド化と米の有利販売を果たし、農家の営農意欲喚起と負担軽減を図るため、土づくり肥料への助成を行っています。

●病害虫防除事業

高品質米の安定生産のため、無人ヘリコプターによる、病害虫防除事業へ支援を行っています。

●肥料等共同購入事業

発足直後の集落営農組織の基盤強化を図り、生産ロットの拡大による安定生産のための支援を行っています。

転作作物への支援

大切な資源である「水田」を余すことなく活用し、転作作物による産地化を図るための支援を行っています。

●土地利用型作物緊急支援事業

にかほ市の農家は、大豆やそばの集団転作を、努力を重ねて取り組んできました。国の制度の激変により、これまでの取り組みを継続することへの、大きな影響が懸念されます。国の激変緩和措置等と併せて市では「自給率向上事業」に上乘せを行う、緊急支援事業を行います。

●転作重点作物種子等導入事業

集落営農組織の複合化を推進し、特産作物の振興を図るために、転作重点作物の種子代の一部を助成しています。

●転作田排水整備事業

軽微な暗渠や明渠整備に必要な費用の一部を支援し、転作作物の湿害対策を講じます。

担い手育成施策

新規就農者の育成

にかほ市においても新たな担い手確保が大きな課題となつているため、就農意欲を喚起するための施策を行っています。

●就農アドバイザー事業

若い農業者を育成する経験豊富なアドバイザーが、農業を志す方の相談や、営農に必要な助成事業の紹介、青年農業者らの情報交換、就農の受け皿となる環境づくり等の活動を行っています。

担い手組織の育成

集落営農組織が、にかほ市の持続的農業の担い手となるよう組織発展のための支援を行っています。

●集落営農法人支援事業

法人設立に向けて必要な助成を行います。

●各種研修・講習事業

複合化や法人化を目指した各種研修・講習を行い、組織のスキルアップを図ります。

数字で見るにかほ市の農業

農家戸数・経営面積等	
農家戸数	1,343戸
〃 (内専業)	145戸
経営者平均年齢	60.2歳
経営耕作地面積	3,390 ha
1戸あたり水田面積	2.3 ha

水田の活用面積 (平成21年度)	
主食用水稻	2,203 ha
大豆	170 ha
野菜	111 ha
そば	38 ha
米粉・飼料用米等	25 ha
その他作物	46 ha
不作付	555 ha

改選後の初議会が開会

議長に 佐藤文昭氏 副議長に 池田好隆氏 を選出

5月11日「平成22年第3回にかほ市議会臨時会」が開会されました。4月25日に行われた市議会議員選挙後、初の議会です。

先の選挙で当選した20人の議員全員が出席し、単記無記名投票による正副議長選挙を行いました。議長には、佐藤文昭氏(馬場)、副議長には、池田好隆氏(下荒屋)が選出されました。また、各常任委員会および議会運営委員会等の構成を決定し、各委員会で互選された正副委員長が報告されました。



副議長 池田好隆 氏



議長 佐藤文昭 氏

各常任委員会、議会運営委員会、議会広報編集委員会などの委員構成は次のとおりです。

(◎委員長、○副委員長 敬称略)

【総務常任委員会】

◎伊藤知 ○宮崎信一
奥山収三、佐々木弘志、池田甚一、佐藤元

【教育民生常任委員会】

◎小川正文 ○伊東温子
鈴木敏男、佐々木正明、

転作作物への支援

大切な資源である「水田」を余すことなく活用し、転作作物による産地化を図るための支援を行っています。

●土地利用型作物緊急支援事業

にかほ市の農家は、大豆やそばの集団転作を、努力を重ねて取り組んできました。国の制度の激変により、これまでの取り組みを継続することへの、大きな影響が懸念されます。国の激変緩和措置等と併せて市では「自給率向上事業」に上乘せを行う、緊急支援事業を行います。

●転作重点作物種子等導入事業

集落営農組織の複合化を推進し、特産作物の振興を図るために、転作重点作物の種子代の一部を助成しています。

●転作田排水整備事業

軽微な暗渠や明渠整備に必要な費用の一部を支援し、転作作物の湿害対策を講じます。

竹内睦夫、市川雄次、池田好隆

【産業建設常任委員会】

◎竹内賢 ○齋藤修市
飯尾明芳、村上次郎、菊地衛、加藤照美

【議会運営委員会】

◎佐藤元 ○村上次郎
奥山収三、伊藤知、小川正文、市川雄次、池田好隆

【議会広報編集委員会】

◎加藤照美 ○飯尾明芳
伊東温子、佐々木弘志、宮崎信一、市川雄次、池田好隆、佐藤元

【秋田県後期高齢者医療

広域連合議会議員】
佐藤文昭
【本庄由利広域
市町村圏組合議会議員】
伊藤知、小川正文

上程された主な議案

上程された議案は、公有水面埋立てに対する意見や平成21年度一般会計補正予算(専決)など4件です。原案のとおりすべて可決・承認されました。

新規就農者の育成

にかほ市においても新たな担い手確保が大きな課題となつているため、就農意欲を喚起するための施策を行っています。

●就農アドバイザー事業

若い農業者を育成する経験豊富なアドバイザーが、農業を志す方の相談や、営農に必要な助成事業の紹介、青年農業者らの情報交換、就農の受け皿となる環境づくり等の活動を行っています。

担い手組織の育成

集落営農組織が、にかほ市の持続的農業の担い手となるよう組織発展のための支援を行っています。

●集落営農法人支援事業

法人設立に向けて必要な助成を行います。

●各種研修・講習事業

複合化や法人化を目指した各種研修・講習を行い、組織のスキルアップを図ります。

◇平成21年度にかほ市一般会計補正予算(第11号)

仁賀保統合中学校建設事業の工事請負費410万4千円の減額やその他事業の財源振替など、歳入歳出とも614万7千円を減額補正したものです。

◇公有水面埋立てに対する意見について

平沢漁港第2泊地の海側に3m(228・65m)の岸壁用地を造成することに伴う公有水面の埋立てについて、秋田県知事より市長の意見を求められたことにより、公有水面埋立法に基づき、議会の議決を求めたものです。

▽埋立てに対する意見

異議なし
平成22年5月12日付退職者
伊藤 テツ子さん

昭和54年、学校給食調理員として仁賀保町に採用され、小出小、平沢小で勤務。市では教育委員会調理員(主任)として、平沢小、金浦学校給食共同調理場などで勤務されました。